

ちきゅうおんだんか
ストップ! 地球温暖化

刻々と迫る人類の危機!



熱い地球

(時間: 約6分) 貸出中 (無料)

企画: なにわエコ会議
監修: 大阪市
制作: (株)イメージショップEY

ねんご ちきゅう へいきんきおん どじょうしやう せかい かがくしや よそう はっぴやう
100年後の地球の平均気温が6.4度上昇すると世界の科学者が予想を発表

わたし
私たちの暮らしはいついどうなるのだろうか。

こっこく せま じんるい ききてきじょうきやう あつ ちきゅう しゅうろく
刻々と迫る人類の危機的状況をこの「熱い地球」に収録

ちきゅう げんじやう わたし くらしみ
地球の現状と私たちの暮らしを見つめるきっかけに、

かんきやうこうえんかい がくしゅうかい かんきやう
環境講演会・学習会、環境イベントなどに

そして、ご家族でのひとときぜひご覧ください。

申込み: 「なにわエコ会議」事務局

〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園2番135号
大阪市立環境学習センター
(生き生き地球館内) 内
TEL/FAX 06-6915-5804
Email: info@naniwaekokaigi.org



なにわエコ会議

気候の安定化に向けて直ちに行動を！

— 科学者からの国民への緊急メッセージ —

平成 19 年 2 月 2 日

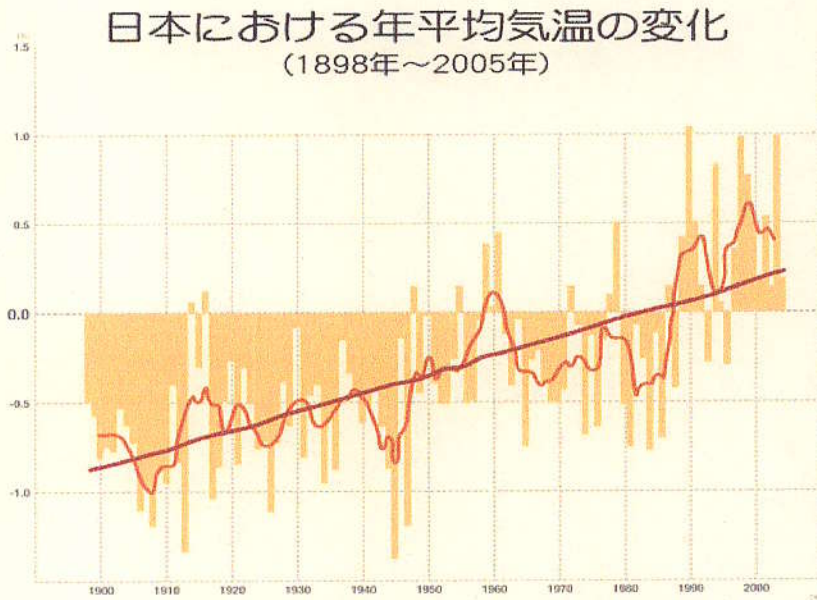
国民のみなさまへ

気候が急激に変化している。この気候変化が人為的温室効果ガス排出によるものであることは、科学的に疑う余地がない。このままの排出が続けば、人類の生存基盤である地球環境に多大な影響を与えることも明白である。

このようなことに、科学者はこれまでも強い懸念を示してきたし、気候の安定化に向けた行動を各界に呼びかけてきた。科学の検証プロセスには多くの知見の集積を必要とするため、科学者の警告は慎重であったし、「低炭素社会」への転換に向けた社会の変革もなかなか進んでいない。その間に、気候の変化は見えないところで進行し、近年になって、それが顕在化した。気候システムには慣性があり、さらに悪化してから手を打ったのでは安定化は極めて困難である。今回発表された、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第4次評価報告書では、気候変化における人為的原因が再確認され、同時に、地球規模での雪氷圏における変化などは予想以上に速く進みつつあることが確認された。さらに、このままのペースで排出を続けると、人類はこれまで経験したことのない温暖化した時代に突入する。限りある自然の吸収力を考えると、温室効果ガスの排出を現在の半分以下にまで削減しないと気候は安定化しない。

気候変動による悪影響が危険なレベルを越えないためには、温室効果ガスの削減を直ちに開始せねばならない。科学の結果を直視し、気候の安定化に向けて、国民が一体となって「低炭素社会」の実現に向けて行動し、世界が共に行動を開始することをより強く呼びかけていくべき時が来ている。このことを、気候変化を研究する科学者として再び強く訴えたい。

【参考資料】



平成 19 年 2 月 2 日早朝（日本時間）、地球温暖化に関する自然科学的な根拠について最新の知見をとりまとめた、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第4次報告書第1作業部会報告書が採択されました。これを機に、気候変化を研究する科学者から国民へ向けて、気候の安定化に向けて直ちに行動することを呼びかける、緊急メッセージが発出されました。

IPCC（Intergovernmental Panel on Climate Change）とは？

国際的な専門家をつくる気候変動に関する政府間パネル（政府間機構）のことで、地球温暖化についての科学的な研究の収集、整理のための、国連環境計画（UNEP）と国連の専門機関である世界気象機関（WMO）が 1988 年共同で設立した。現在は、地球温暖化に関する最新の知見の評価を行っている。